

ホタル通信

No. 152-1 2017. 1. 3

<小山のホタルと自然を守る会>

HP:<http://www.oyama-hotaru.com/>

Tell:042-797-1851

東の山林は失われようとして
います。(2016. 12. 4 撮影)



市は、東の山も公有地にして保護しようとしたが、出来ませんでした。開発業者の開発が進んでいます。木を切り始めています。この紅葉も、見納めです。



大切な木（絶滅危惧種等）は残すよう依頼しました。緑地になる近くに移植してあります。

今年は
林がなくなる弊害を最小限に
くい止め、ホタルの住処である水
源を確保する取組みに力を入れ
ていかななくてはなりません。
頑張りましょう！



この木は、マメザクラです。ホシザクラとヤブザクラは、この木とエドヒガンを親として何億年も前に出来たと言われています。そのため、ホシザクラとヤブザクラは種では増えず、根を伸ばして子供たちの木を出します。この谷戸に一本しかありません。エドヒガンは一本もありません。

この写真は、この谷戸の大切な木を、福留君（福留さんの息子さん）に案内してもらった時の写真です。木の所に立っているのが福留君です。

この木を移植してでもなんとか残してほしいと言っているのですが、「難しい」と言っています。

その他にも、山の土を埋めて平にし、宅地にするところにも、大きな「イヌザクラ」、大きな「ホシザクラ」等があり、土を埋めた場合、それらの木が助かるかどうか心配です。林がなくなれば、野鳥達の住処もなくなりますね。

急ですが

1月の作業日及び懇親会

日時：1月8日（日）午前9時30分～

仕事：学習の資料を張る掲示板作り

懇親会：11時30～

会費；男性：1,000円、女性：500円

懇親会だけの出席でも結構です。懇親会だけ来られる人は電話で予約ください。

キャンセルの場合は当日の朝

090-3009-2941（柿澤）まで

今年の目標等語り合しましょう。

8日に出来ない場合は、9日です。

<片所谷戸秋の取組み>

自然探検の学習

小山小学校の4年生が、総合学習で、「自然探検自主学习」に取り組みました。

「自分で問題を見つけ、自分で答えを見つけていく」学習です。

私たちは、道案内人、アドバイザーです。決して答えは言いません。

問題を見つけるのも自分達です。

私たちは言います。「問題を見つけるのも、素晴らしい発見ですよ。」

その問題を抱きながら、自然と対話し、回答を得ていきます。

小山小学校の子どもは、毎年それに、秋に取り組んでいます。



この子たちは、初めの道案内を聞いています。ノートに何か書いている子もいますね。



カワニナですね。「手に取ってみていいよ。」と言ったら、手に取って見ていました。返す時は、優しく川においてあげていました。



秋の川の生き物:サワガニでしょうか。草のみは、ヤブランの実でしょうか、ヤマユリの実でしょうか。どのような問題を感じたでしょうね。



これは池と言うか大きな水たまりの写真です。クレソンとカワニナと池底の丸い線と穴が開いている木の葉が見えますね。生き物の好きな子どもたち、何を見つけたでしょうか。



この時に下草刈りをしている人達がいたわけではありませんが、ここが3号緑地の頂上です。ホシザクラを見るためにこの上までのぼり、谷戸の探検をした人が多くいました。さて何を発見してくれたでしょうか。

小山小学校の4年生、毎年手紙を書いて送ってくれます。その中に書いてあるかもしれませんね。